

期 間：令和3年11月4日(木)～12日(金)※11月6日(土)・7日(日)も開催
場 所：愛知県埋蔵文化財調査センター2階 資料管理閲覧室・収蔵庫C

令和3年度 愛知県埋蔵文化財センター
秋の埋蔵文化財展

展示解説

愛知県の城跡分布図

(類似遺構、伝承地、参考地、幕末海防関係を除く)



発掘された 愛知の城

愛知県には、数え方にもよりますが1,400～1,600か所の鎌倉時代～江戸時代の城跡があるとされています。その分布は、丘陵から山間部では河川や街道沿いに集中する傾向があります。これらは交通だけでなく軍事的な要衝でもあったと考えられます。一方で、沖積低地や台地の縁辺では極端な集中はみられません。これらは当時の生活の場である集落の立地と密接に関係していることを示していると考えられます。

さらに江戸時代になると、城そのものが名古屋城や各地の陣屋などのように政治の場として限られた存在になっていきます。このように時代を通じて城跡をみていくことで、集落や都市そして政治や経済の変化を知ることができるでしょう。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、
ご来場には消毒・マスク着用にご協力ください。



公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター

〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方802-24
tel. 0567-67-4163 (調査課) tel. 0567-67-4161 (管理課)
fax. 0567-67-3054
ホームページ <http://www.maibun.com>
Facebook <https://www.facebook.com/maibunaiichi>
Twitter https://twitter.com/aichi_maibun

令和3年度 愛知県埋蔵文化財センター
秋の埋蔵文化財展 **展示解説**

発掘された 愛知の城



豊田市大平本城跡の全景



稲沢市一色城跡の西堀



帯曲輪の切岸と横堀（豊田市城山城跡 00B 区）



深い堀（名古屋市名古屋城三の丸遺跡
愛知県三の丸庁舎地点 SD602）

戦国時代の山城跡は、愛知県では丘陵・山間部の多い三河地域で主に分布しています。大平本城跡（豊田市）のような小規模なものから、多数の曲輪や庭園まで造られた桑下城跡（瀬戸市）まであります。また中山砦跡（新城市）のように城攻め時に築造されたものもあります。

山城は、その高低差を活かした切岸や横堀、尾根筋を遮断する堀切などを防御線としているのが特徴です。

戦国時代の平城跡は、愛知県では沖積低地や台地の多い尾張・西三河南部地域で主に分布しています。幅 5m 以上の堀と土塁で囲まれた、一辺が 1 町（約 109m）以下の規模が主体ですが、清須城や岩倉城のように 2 町以上となるものや、名古屋城三の丸遺跡で発掘された深さ約 4.2m をはかる 16 世紀後葉の堀もあります。



公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター

〒498-0017 愛知県弥富市ヶ須町野方802-24
tel. 0567-67-4163 (調査課) tel. 0567-67-4161 (管理課)
fax. 0567-67-3054
ホームページ <http://www.maibun.com>
Facebook <https://www.facebook.com/maibunaiichi>
Twitter https://twitter.com/aichi_maibun